

第 28 回

日本産婦人科乳腺医学会

テーマ

「乳がん診療を支える懸け橋」
—産婦人科医と乳腺科医の未来へ繋ぐ絆—

【会長】 水谷 三浩
三河乳がんクリニック

【会期】 2022年3月20日（日）21日（月・祝）

【会場】 オンライン開催

併設開催 第13回DCIS研究会・第28回日本乳腺疾患研究会

ご挨拶

第28回日本産婦人科乳腺医学会の開催にあたり



令和4年になり、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症数が急増し、全国的に蔓延防止措置が行われ、新聞やテレビでも相変わらず毎日コロナ報道があふれています。このような中で、三河乳がんクリニック、水谷三浩院長を会長として、第28回学会が開催できることになり心より嬉しく思います。準備をお進めいただいた水谷会長はじめ関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

ご存じのように、2020年3月に名古屋市で水谷会長により第26回学術集会在開催されるはずでしたが、コロナ禍のため残念ながら中止せざるを得なくなり、水谷先生には大きなご迷惑をおかけして残念に思っておりました。今回、2年越しにはなりますが、開催していただけることになり、安堵しています。

水谷会長は生粋の乳腺外科医で乳がん医療の第一人者ですが、日頃から我々の仲間として本会理事にご就任いただき大所高所からご指導をいただいています。その中で、乳がん検診における産婦人科医の意義をお認めいただき、乳腺科領域と産婦人科領域が相互の理解を深め、太く強い絆を結ぶことが重要とお考えをいただいています。そして、先生ご自身が確固とした懸け橋となるとの温かいお言葉をいただいています。そのような観点から、今回のテーマを「乳がん診療を支える懸け橋—産婦人科医と乳腺科医の未来へ繋ぐ絆」とされたのだと思います。先生が日頃から大事にされている相田みつをの名言をポスターにお使いになられたことにも表れていると思います。

今回の学会のプログラムは乳がん診療における産婦人科領域と乳腺科領域の絆を前面に出して教育的講演を中心に素晴らしいプログラムが用意されています。必ずや、産婦人科領域と乳腺科領域に係わる全ての医療者（医師・助産師・看護師・臨床検査技師・放射線技師・薬剤師など）が、乳がん診療の基礎から最新の知見までを広く深く学び高める場となると思います。一方で、今回の学術集会ではDCIS研究会と日本乳腺疾患研究会と3つの学会が連続して開催されます。両学会は最先端の乳がん診療の学会ですが、水谷先生のアイデアと両学会の関係者のご理解で実現しました。基本から最先端までを聴くことができる素晴らしい学会になることでしょう。

2021年の分娩数は82万件となり、少子高齢化時代に突入し産婦人科医療はこれから急速に変化していきます。偶然にも、コロナ蔓延による環境の変化は、社会の在り方を問い直す契機となり、ある意味で産婦人科医療の新しい時代の入り口に立っているのかもしれませんが。その中で、産婦人科領域での乳房ケアは重要な領域になると思います。今回がそのスタートになることを祈念しています

最後になりましたが、水谷会長ならびに関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

一般社団法人日本産婦人科乳腺医学会

理事長 苛原 稔

徳島大学大学院医歯薬学研究部長

ご挨拶

第28回日本産婦人科乳腺医学会の開催にあたり



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第26回学術集会は開催目前にしてやむなく中止となりました。ご支援を頂戴した関係各位に心から深謝申し上げます。そして苛原理事長を始め多くの方々のご寛容とご厚意によって再度会長を拝命し、第28回学術集회를主宰する栄誉を賜りました。身に余る光栄に感激すると同時に、お寄せいただいたご期待に応えるべくその重責を痛感しているところでございます。

さて皆様もご周知のごとく、コロナ禍は今現在収束しておりません。このため確実を期して、本会はオンライン開催といたします。直にご参加の皆様を拝顔のうえ、熱こもる会場でお迎えしたいのが本意のところ、どうかご容赦くださいませ。

今回の主題はあらためて「乳がん診療を支える懸け橋 一産婦人科医と乳腺科医の未来へ繋ぐ絆」といたしました。乳がん診療において、産婦人科領域と乳腺科領域は広く重なっています。したがって密接な連携を必要とする領域はとても多岐に及びます。実際に、乳がんの内分泌・化学療法のもたらす医原性閉経、妊娠に合併する乳がん、乳がん治療後の妊娠、遺伝性乳がん・卵巣がん等々と枚挙に暇がありません。産婦人科領域と乳腺科領域に携わる医療者が相互の理解を深め、力を合わせるならば、その太く強い絆は乳がん診療を支える確固とした懸け橋となり、希望溢れる未来の医療へと導くことでしょう。そのうえで乳がん診療に関する適確な基礎知識を共有し、同じ礎に立つことは必須の前提条件と思われまます。そこで本学会では、産婦人科領域～乳腺科領域に係わる全ての医療者（医師・助産師・看護師・臨床検査技師・放射線技師・薬剤師など）が、初学者から熟練者を問わず集いて、乳がん診療の基礎から最新の知見までを広く深く学び高める場となるべく構想を練りました。教育的講演を中心に一般演題も募集致しました。

また今回の学術集会は独協医大放射線科の久保田教授が当番世話人を務めます DCIS 研究会、および私が会長の日本乳腺疾患研究会と当学会の3つの学会をつなげて開催する予定です。特に DCIS 研究会の事務局長蒔田先生、乳腺疾患研究会の園尾理事長および当会の苛原理事長のご厚意により、3月19日土曜日から3月21日月曜日まで、DCIS 研究会、乳腺疾患研究会、産婦人科乳腺医学会の順で進行いたします。それぞれの会の門戸を広げ、多くの参加者を募り、内容を盛り上げたく企画しました。そのため通常の学術集会和、やや変則的になるかもしれませんが、どうかお許しくださいませ。一人でも多くの参加者をお待ちしております。ぜひ DCIS 研究会、乳腺疾患研究会にもご参加くださいませ。

皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

第28回日本産婦人科乳腺医学会

会長 水谷 三浩

三河乳がんクリニック 院長

参加者の皆様へ

I. 参加費

第 28 回日本産婦人科乳腺医学会 参加費のご案内

本学会のみご参加の場合、併催の第 13 回 DCIS 研究会・第 28 回日本乳腺疾患研究会にもご参加される場合の参加費については、それぞれ下表のようにご案内申し上げます。

◎第 13 回 DCIS 研究会のご参加に際しましては、追加の参加費はいただきません。

◎日本産婦人科乳腺医学会、日本乳腺疾患研究会、DCIS 研究会は広く会員募集中です。

ぜひこの機会にご入会をお勧め致します。

区分別の参加費				
	日本産婦人科乳腺医学会 会員	日本乳腺疾患研究会 会員	第 28 回 日本産婦人科乳腺医学会 のみ参加	第 28 回日本産婦人科乳腺医学会 第 28 回日本乳腺疾患研究会 両方に参加
医 師	◎	◎	6000 円	7000 円
医 師	◎	—	6000 円	8000 円
医 師	—	◎	7000 円	8000 円
医 師	—	—	7000 円	9000 円
メディカルスタッフ	◎	◎	2000 円	3000 円
メディカルスタッフ	◎	—	2000 円	4000 円
メディカルスタッフ	—	◎	3000 円	4000 円
メディカルスタッフ	—	—	3000 円	5000 円
学 生	問わず	問わず	1000 円	1000 円

日本産婦人科乳腺医学会へのご入会に関するご案内は、以下 URL をご参照ください。

<http://jbsgo.jp/invitation/index.html>

日本乳腺疾患研究会へのご入会に関するご案内は、以下 URL をご参照ください。

<http://nyusen-sikkan.umin.jp/enter.html>

DCIS 研究会へのご入会に関するご案内は、以下 URL をご参照ください。

<http://dcis.kenkyuukai.jp/special/?id=15470>

II. プログラム抄録集

ご登録された方に PDF にて Email 添付送信させていただきます。追加で冊子が必要な場合には、事務局へ Email にてご連絡の上、別途ご購入ください（1 部 1,000 円）。数に限りがございますため先着順とさせていただきます。

Ⅲ. 各種研修証明について

・助産師の方へ

当学会プログラムは、以下に該当する講義を含みます。

2022年以降アドバンス助産師更新要件「選択研修」

*参加証が学術集会への参加の証明となります。参加証は、参加状況を確認の上事後郵送致します。

・医師の方へ

当学会プログラムにご参加の方には、以下の発行を予定しております。

日本産科婦人科学会 産婦人科専門医 研修出席証明

日本専門医機構 学術集会参加単位

産婦人科領域講習

日本医師会 生涯教育制度参加証

日本産婦人科医会 研修参加証

*当日のログインと設問のご回答を確認させて頂き、参加状況を確認させて頂きます。

*参加証・各種研修証明書・シールは、事後郵送致します。

Ⅳ. 当日の運営について

第28回日本産婦人科乳腺医学会は、全面オンラインにて開催させて頂くこととなりました。この度の学会開催では、オンライン会議システムZoomを使用します。以下の通りご案内申し上げます。ご理解ご協力賜りますようお願い致します。

- 座長と演者のみがカメラとマイクを使用するウェビナー形式で進行させて頂きます。
- オンラインによる学会での発表に際し、本学会では各自のコンピューターの操作・インターネット接続・映像・音声等のトラブルの対応はできません。ご自身での解決をお願いします。
- 配信画面の録画、静止画記録、録音を一切禁止致します。
- ID、パスワードの譲渡・共有は禁止致します。これに関わるトラブルが発生した場合、本学会では責任を負いかねます。
- 本オンライン学会参加に要する通信料は、参加者の自己負担と致します。

Ⅴ. オンデマンド配信について

- 第28回日本産婦人科乳腺医学会ホームページ
<http://www.academiasupport.org/28jbsgo.html> から、学会プログラム（一部を除き）をオンデマンド配信します（日本産科婦人科学会及び日本専門医機構の単位付与はライブ発表の視聴のみとなります。）。
- オンデマンド配信期間：2022年3月28日（月）～4月28日（木）予定

ご不明な点等ございましたら、以下事務局へお尋ねください。

皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

【お問合せ先】

第28回日本産婦人科乳腺医学会運営事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7-920 一般社団法人アカデミアサポート内

Tel：03-5312-7686 Fax：03-5312-7687 Email：28jbsgo@academiasupport.org

日程表

第28回日本産婦人科乳腺医学会「乳がん診療を支える懸け橋—産婦人科医と乳腺科医の未来へ繋ぐ絆」

	2022年3月20日(日)	2022年3月21日(月・祝)
	<p style="text-align: center;">【各種研修証明対象プログラム】</p> <p>※：日本専門医機構「産婦人科領域講習単位」 ◆：日本産婦人科医会「研修参加証」 S：日本医師会「生涯教育参加制度参加証」 E：日本産婦人科乳腺医学会「乳房エキスパート看護職制度単位」 ☆：日本助産評価機構2022年以降更新要件「選択研修」</p>	<p>8:00-9:00【共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社】 モーニングセミナー「乳房用超音波画像診断装置 INVENIATM ABUSの現状と可能性について—当院の初期経験の検討より—」 演者：水谷三浩</p>
9:00		<p>9:00-12:00 マンモグラフィを究める ※◆S 9:00-10:00 「見落とさない局所的非対称性陰影」 座長：寺本勝寛・植松孝悦 演者：大貫幸二 10:00-11:00 「見落とさない構築の乱れ」 座長：宮崎千恵子・加藤雅通 演者：後藤真理子 11:00-12:00 「見落とさない微細石灰化」 座長：川名敬・原泰夫 演者：中島一彰</p>
	11:50-12:00 理事長・会長挨拶	
12:00	<p>12:00-13:00【共催：アストラゼネカ株式会社】 ランチョンセミナー「HBOCを究める」※◆S 座長：藤井知行・田口哲也 「遺伝性腫瘍としての卵巣癌」 演者：青木大輔 「遺伝性腫瘍としての乳癌」 演者：中村清吾</p>	<p>12:00-13:00【共催：デヴィコアメディカルジャパン株式会社】 ランチョンセミナー「超音波ガイド下インターベンションとその病理を究める」※◆S 座長：土橋一慶・渡邊良二 「超音波ガイド下吸引式組織生検を安全確実にを行うために」 演者：渡邊良二 「確定診断のためには吸引式針生検を」 演者：山口倫</p>
13:00	<p>13:00-14:20 妊娠授乳から乳がんを究める ※◆S 13:00-13:40 「妊娠期乳がんの診断と治療」 座長：古谷健一・中野正吾 演者：林直輝 13:40-14:20 「乳がん術後に母になる」 座長：渡利英道・中村清吾 演者：津川浩一郎</p>	<p>13:00-15:00【共催：公益社団法人 日本産婦人科医会】 乳房超音波を究める ◆S 13:00-14:00 「組織型を読む 浸潤癌」 座長：松敬文・藤井正宏 演者：森島勇 14:00-15:00 「DCIS（非浸潤性乳管癌）の超音波像の特徴について」 座長：関根憲・雨宮剛 演者：尾本きよか</p>
14:00		
15:00	<p>14:30-15:50 臨床現場から乳房エキスパート看護職の役割を考える ※◆E☆ 座長：土井卓子・加藤江里子 14:30-14:45 「更年期世代へのプレスト・アウェアネス」 演者：加藤久美子 14:45-15:00 「妊娠期乳がん患者に対する看護師・助産師の連携」 演者：金井久子 15:00-15:15 「妊娠糖尿病妊産褥婦への母乳育児支援」 演者：森重圭子 15:15-15:30 「授乳期の乳房トラブルに対する乳腺の診方と判断—開業助産師から医師への連携—」 演者：新村能子 15:30-15:50 総合討論</p>	<p>15:10-16:10 【共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社】 乳腺超音波観察法を究める ※◆S 座長/演者：何森亜由美</p>
16:00	<p>15:50-18:20 放射線療法・リンパ浮腫・乳房再建を究める ※◆S 15:50-16:40 「乳癌に対する放射線療法を究める」 座長：高橋健太郎・杉浦博士 演者：山内智香子 16:40-17:30 「婦人科がん・乳がん術後のリンパ浮腫を抱える患者さんと共に」 座長：小林範子・久留宮康浩 演者：佐藤佳代子 17:30-18:20 「乳房再建を究める」 座長：宮城悦子・三田圭子 演者：梅本泰孝</p>	<p>16:10-18:40 乳房超音波検診を究める ※◆S 16:10-17:00【共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社】 「乳房超音波の基本的な診断プロセス」 座長：佐久間浩 演者：尾羽根範員 17:00-17:50 「乳房超音波の感度を上げるために」 座長：尾羽根範員 演者：白井秀明 17:50-18:40【共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社】 「乳房超音波の特異度を上げるために」 座長：白井秀明 演者：佐久間浩</p>
17:00		
18:00		
19:00	<p>18:20-18:55 一般演題 座長：藤野敬史・加藤栄一 19:00-20:30【共催：大塚製薬株式会社】 イブニングセミナー「女性ホルモンを究める」※◆S 座長：加藤聖子・明石定子 「ホルモン環境と女性の一生」 演者：苛原稔 「更年期障害を究める～基礎から最新の話まで」 演者：高松潔</p>	<p>18:40-19:40 特別講演「絆 愛と信」◆S 座長：落合和徳 演者：相田一人 19:40-19:50 次期会長挨拶・閉会の辞</p>
20:00		
20:30		

プログラム

第1日 2022年3月20日(日)

11:50-12:00 理事長・会長挨拶

12:00-13:00

ランチョンセミナー「HBOCを究める」

【共催：アストラゼネカ株式会社】

座長：藤井 知行（医療法人財団順和会山王病院）

座長：田口 哲也（京都府立医科大学内分泌・乳腺外科）

「遺伝性腫瘍としての卵巣癌」

演者：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学）

「遺伝性腫瘍としての乳癌」

演者：中村 清吾（昭和大学医学部乳腺外科）

13:00-14:20

妊娠授乳から乳がんを究める

13:00-13:40 「妊娠期乳がんの診断と治療」

座長：古谷 健一（防衛医科大学校）

座長：中野 正吾（愛知医科大学医学部乳腺・内分泌外科）

演者：林 直輝（聖路加国際病院乳腺外科）

13:40-14:20 「乳がん術後に母になる」

座長：渡利 英道（北海道大学医学部産婦人科）

座長：中村 清吾（昭和大学医学部乳腺外科）

演者：津川 浩一郎（聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科）

14:30-15:50

臨床現場から乳房エキスパート看護職の役割を考える

座長：土井 卓子（湘南記念病院乳がんセンター）

座長：加藤 江里子（帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科）

14:30-14:45 「更年期世代へのプレスト・アウェアネス」

演者：加藤 久美子（医療法人社団浜悠会 KO CLINIC）

14:45-15:00 「妊娠期乳がん患者に対する看護師・助産師の連携」

演者：金井 久子（聖路加国際病院）

15:00-15:15 「妊娠糖尿病妊産褥婦への母乳育児支援」

演者：森重 圭子（地方独立法人市立吹田市民病院）

15:15-15:30 「授乳期の乳房トラブルに対する乳腺の診方と判断～開業助産師から医師への連携～」

演者：新村 能子（よしこ〇助産院〇）

15:30-15:50 総合討論

15:50-18:20

放射線療法・リンパ浮腫・乳房再建を究める

15:50-16:40 「乳癌に対する放射線療法を究める」

座長：高橋 健太郎（日野記念病院婦人科）

座長：杉浦 博士（名古屋市立大学医薬学総合研究院）

演者：山内 智香子（滋賀医科大学地域周産期医療学講座）

16:40-17:30 「婦人科がん・乳がん術後のリンパ浮腫を抱える患者さんと共に」

座長：小林 範子（北海道大学病院婦人科）

座長：久留宮 康浩（豊田厚生病院外科）

演者：佐藤 佳代子（さとうリンパ浮腫研究所／マッサージ治療室のあ）

17:30-18:20 「乳房再建を究める」

座長：宮城 悦子（横浜市立大学医学部産婦人科）

座長：三田 圭子（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター）

演者：梅本 泰孝（愛知医科大学形成外科）

18:20-18:55

一般演題

座長：藤野 敬史（手稲溪仁会病院）

座長：加藤 栄一（坂井市立三国病院）

18:20-18:27 「当院のマンモグラフィ（MG）・超音波（US）併用の乳癌検診の検証」

演者：小林 美樹（三河乳がんクリニック）

18:27-18:34 「30代乳房超音波検診成績～妊婦健診・産褥期健診に乳房超音波健診導入を目指して～」

演者：加藤 栄一（坂井市立三国病院）

18:34-18:41 「乳癌診療における超音波検査の有効性の検証 当院の小腫瘍径乳癌の解析から」

演者：岡田 あかね（三河乳がんクリニック）

18:41-18:48 「線維腺腫として経過観察をして乳癌だった症例—超音波の読み方の反省」

演者：的野 博（的野ウィメンズクリニック）

18:48-18:55 「COVID-19 ワクチン接種が、検診マンモグラフィの撮影ならびに読影に及ぼす影響についての検討」

演者：飯田 智博（医療法人三友会あけぼの病院婦人科）

19:00-20:30

イブニングセミナー「女性ホルモンを究める」

【共催：大塚製薬株式会社】

座長：加藤 聖子（九州大学医学部産科婦人科）

座長：明石 定子（昭和大学医学部乳腺外科）

19:00-19:45 「ホルモン環境と女性の一生」

演者：苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

19:45-20:30 「更年期障害を究める～基礎から最新の話まで」

演者：高松 潔（東京歯科大学市川総合病院産婦人科）

第2日 2022年3月21日(月・祝)

8:00-9:00

モーニングセミナー「乳房用超音波画像診断装置 INVENIATM ABUS の現状と可能性について—当院の初期経験の検討より—」

【共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社】

演者：水谷 三浩（三河乳がんクリニック）

9:00-12:00

マンモグラフィを究める

9:00-10:00 「見落とさない局所的非対称性陰影」

座長：寺本 勝寛（山梨県厚生連健康管理センター）

座長：植松 孝悦（静岡がんセンター乳腺画像診断科）

演者：大貫 幸二（宮城県立がんセンター乳腺外科）

10:00-11:00 「見落とさない構築の乱れ」

座長：宮崎 千恵子（医療法人社団萌生会宮崎クリニック産婦人科）

座長：加藤 雅通（加藤外科産婦人科・乳腺クリニック）

演者：後藤 眞理子（京都府立医科大学放射線診断治療学講座）

11:00-12:00 「見落とさない微細石灰化」

座長：川名 敬（日本大学医学部産婦人科）

座長：原 泰夫（東名古屋画像診断クリニック）

演者：中島 一彰（静岡がんセンター乳腺画像診断科）

12:00-13:00

ランチオンセミナー「超音波ガイド下インターベンションとその病理を究める」

【共催：デヴィコアメディカルジャパン株式会社】

座長：土橋 一慶（千川産婦人科医院）

座長：渡邊 良二（糸島医師会病院乳腺センター）

「超音波ガイド下吸引式組織生検を安全確実にを行うために」

演者：渡邊 良二（糸島医師会病院乳腺センター）

「確定診断のためには吸引式針生検を」

演者：山口 倫（久留米大学医学部附属医療センター）

13:00-15:00

乳房超音波を究める

【共催：公益社団法人日本産婦人科医会】

13:00-14:00 「組織型を読む 浸潤癌」

座長：松 敬文（まつ婦人科クリニック）
座長：藤井 正宏（豊橋市民病院乳腺外科）
演者：森島 勇（筑波メディカルセンター病院乳腺科）

14:00-15:00 「DCIS（非浸潤性乳管癌）の超音波像の特徴について」

座長：関根 憲（関根ウイメンズクリニック）
座長：雨宮 剛（安城更生病院乳腺センター）
演者：尾本 きよか（自治医科大学臨床検査医学）

15:10-16:10

乳房超音波観察法を究める

【共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社】

座長/演者：何森 亜由美（高松平和病院乳腺外科）

16:10-18:40

乳房超音波検診を究める

16:10-17:00 「乳房超音波の基本的な診断プロセス」

【共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社】

座長：佐久間 浩（フリー超音波検査士）
演者：尾羽根 範員（住友病院診療技術部超音波技術科）

17:00-17:50 「乳房超音波の感度を上げるために」

座長：尾羽根 範員（住友病院診療技術部超音波技術科）
演者：白井 秀明（札幌ことに乳腺クリニック）

17:50-18:40 「乳房超音波の特異度を上げるために」

【共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社】

座長：白井 秀明（札幌ことに乳腺クリニック）
演者：佐久間 浩（フリー超音波検査士）

18:40-19:40

特別講演「“絆”愛と信」

座長：落合 和徳（新百合ヶ丘総合病院）
演者：相田 一人（相田みつを美術館）

19:40-19:50 次期会長挨拶・閉会の辞